

病院の経営幹部層を対象とした
新たな学びの空間を創ります！

医療エグゼクティブ・オフィサー 養成セミナー



予測困難な時代に、 地域感覚とデザインセンスを磨いて 病院運営に取り組みたい方へ

このセミナーがめざすこと

変化に応える病院の組織運営、 地域でのプレゼンスの強化

社会保障を取り巻く制度や
状況の変化が目まぐるしく、
何をしたいのかわからない

医療の安全・質と収益性を
どのように両立できるのか

リーダーシップの再考

意思決定に自信がもてない

組織の課題に見合った目標を
設定することが難しい

レジリエントな組織づくり

職員の多様性を、長所として活かした
組織をつくりたい

事業継続性をどう守り、
地域とどう連携したらよいか

仲間づくり・ モチベーションの維持

同じ悩みを抱える
他の経営幹部と交流し、
学び合いたい

ほかの病院の実践を
知りたい、見たい



MESSAGE /

地域感覚とデザインセンスの活用を、医療経営に

近年、「老衰」という死因が第3位に上がってきました。私自身、改めて「ここまで来たか」と切迫感を持ちました。超高齢社会の象徴的なこととしてとらえています。

地域の人口構造の変化は、わが国が経験したことのないスピードで進行しており、地域のケア体制もこれに適合的に再構成することが求められています。

一方、個々の医療機関にとっては、予測困難な状況のなかでの自院の将来像を描く大きな意思決定が必要になってきています。

このような時代背景のもと、わたくしども日本医療評価機構は、新たに医療機関の経営幹部を対象としてセミナーを開講します。

このセミナーは、いわば「トップマネジメントのための総仕上げ」としての場を目指しています。ケースメソッドやグループワークを通して、必要な知識を確認するとともに、果たすべきリーダーシップや意思決定のあり方など、他の参加者との議論を通じて多角的に探求していきます。

各講師のご尽力もあり、機構の提供する研修プログラムの一つの到達点となるものと自負しています。確かな

一步を踏み出すために、知恵と気づき、そしてともに進む仲間を得る場として、ぜひこのセミナーをご活用ください。

常務理事
橋本 迪生



医療エグゼクティブ・オフィサーとは

このセミナーが目指す、これからのリーダーのすがた

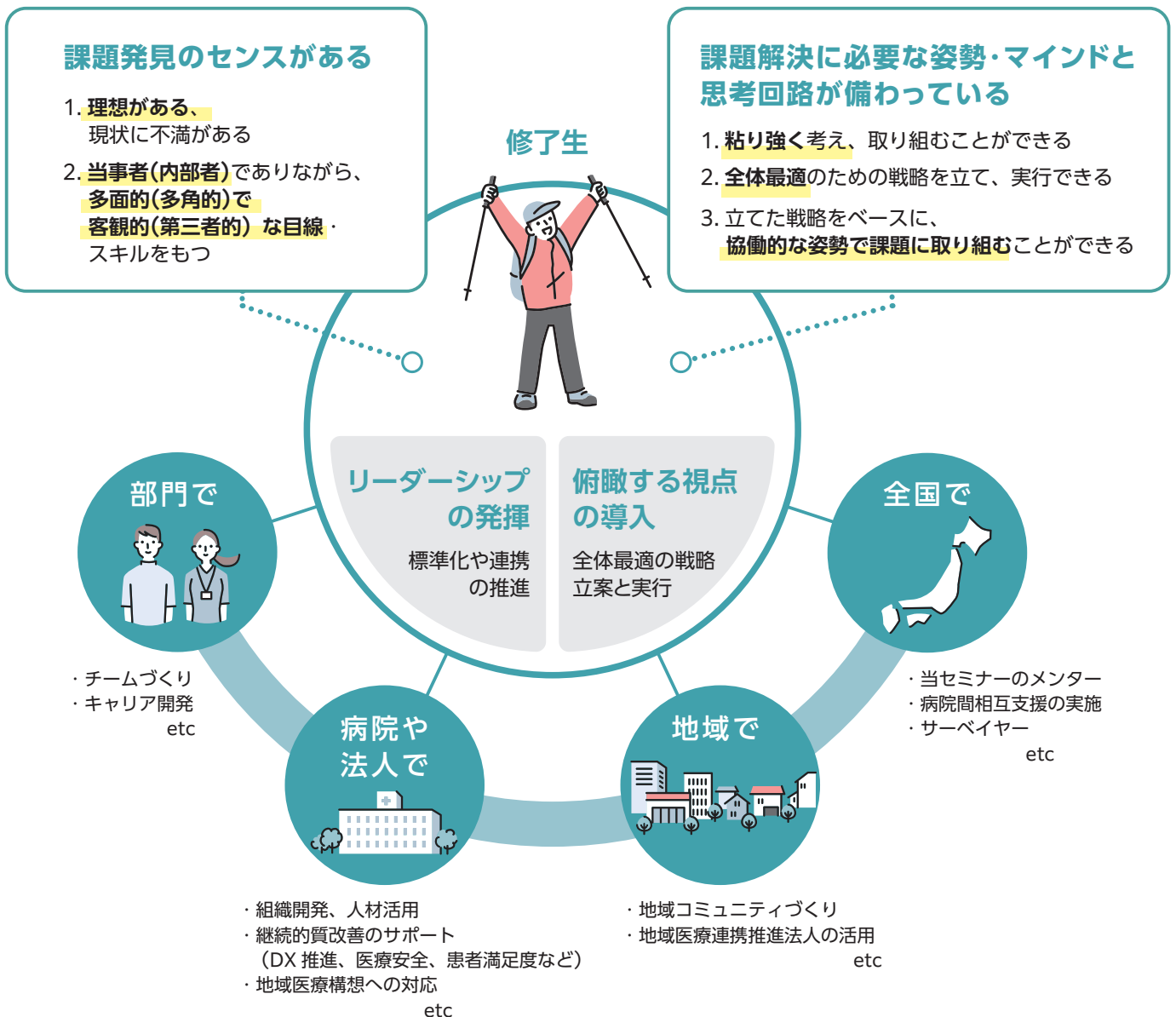
01

医療機関の経営幹部として、自施設の事業継続性を確保するために果たすべき役割を自ら定義し、戦略的に取り組むことができる。

02

医療機関が直面している課題のみならず、地域における医療提供体制や中長期的に対応すべき課題に対して、広い視野をもち目標達成に向けて取り組むことができる。

修了生の活躍イメージ



コース構成

4つのコースを準備し、融合的

 : JQ (公益財団法人 日本医療機能評価機構)



STEP 3 修了課題

修了課題としてレポートを作成し共有・発表します



STEP 2 ケースメソッドコース

これまでの学びや経験を総動員し、指定されたケースについて考え、議論し、応用力・実践力を高めます

STEP 1 マネジメント実践コース

フロントランナーや先達をお招きし講義や対話を通じて、テーマに対する理解を深めます



STEP 0 マネジメント基礎/応用

STEP1 ~ STEP3 の基礎を各自のペースと方法で習得します



など

コンテンツ

- STEP 0 マネジメント基礎/応用
- STEP 1 マネジメント実践
- STEP 2 ケースメソッド

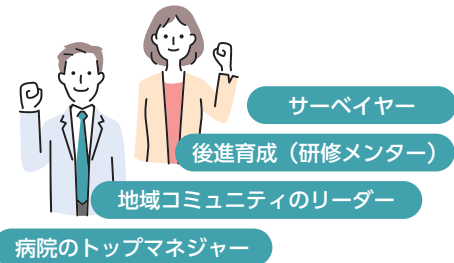
人材管理	
社会システムと労務管理	
病院経営幹部の育成	
情報管理	
事業承継、危機管理、組織レジリエンス	
人材育成、キャリア開発、ウェルビーイング	
リーダーシップ	

資源管理	
経営戦略	
財務管理	
情報管理	
資金マネジメント (資金調達・経営分析)	
マーケティング	

に開催します

修了後は 実践+自己研鑽

- ・継続研修参加
- ・フィールドワーク参加
- ・研修メンター・講師等



STEP 3

修了課題と発表



セミナーの最終段階では、学びを通して得た気づきやアイデア、思考力を存分に活用していただき、課題に取り組みます。
共有・発表を通じて成果を分かち合い、修了後は各自のフィールドに戻ります。

STEP 2

ケースメソッド (ケースメソッドによる深い学び)

計5回



ケースメソッドではリアルなケースを学びの題材として、クラスでの議論を通して、分析・課題特定・意思決定といった課題解決力を鍛えます。

ヒント STEP0 や STEP1 も活用しながら、事前の学習や事後の復習等を並行することで学習効果が高まります

STEP 1

マネジメント実践 (実践的なマネジメントスキルの習得)

計10回



e-learningによる事前の講義視聴と、Zoomのライブ配信を組み合わせて、テーマ別に理解を深めます。
先達の考え方や経験を、自らの実践と学びのヒントにします。

STEP 0

マネジメント基礎・応用 (自由学習による基礎・応用学習)

各自のニーズと興味に応じて、マネジメントの基礎知識をインプットします。
各STEPとの有機的なつながりをめざして、推薦図書や推薦講座などのヒントとなる情報をご紹介する他、一部、JQオリジナル教材も提供します。

ヒント それぞれの学びの経歴や学習スタイルを踏まえ、主体性をもって自由に学びを進めます

質管理

経営と質管理
組織の安全管理

医療の安全・医療の質、組織開発
組織倫理、組織開発
医療の質、データ活用、ブランディング

組織管理

組織デザインと組織運営
組織における倫理

外部評価、医療の質
地域医療構想、リーダーシップ
ブランディング、テクノロジー活用

①オペレーションサービスマネジメント
②問題解決のための思考法
戦略、
プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント

ヘルスケアシステム

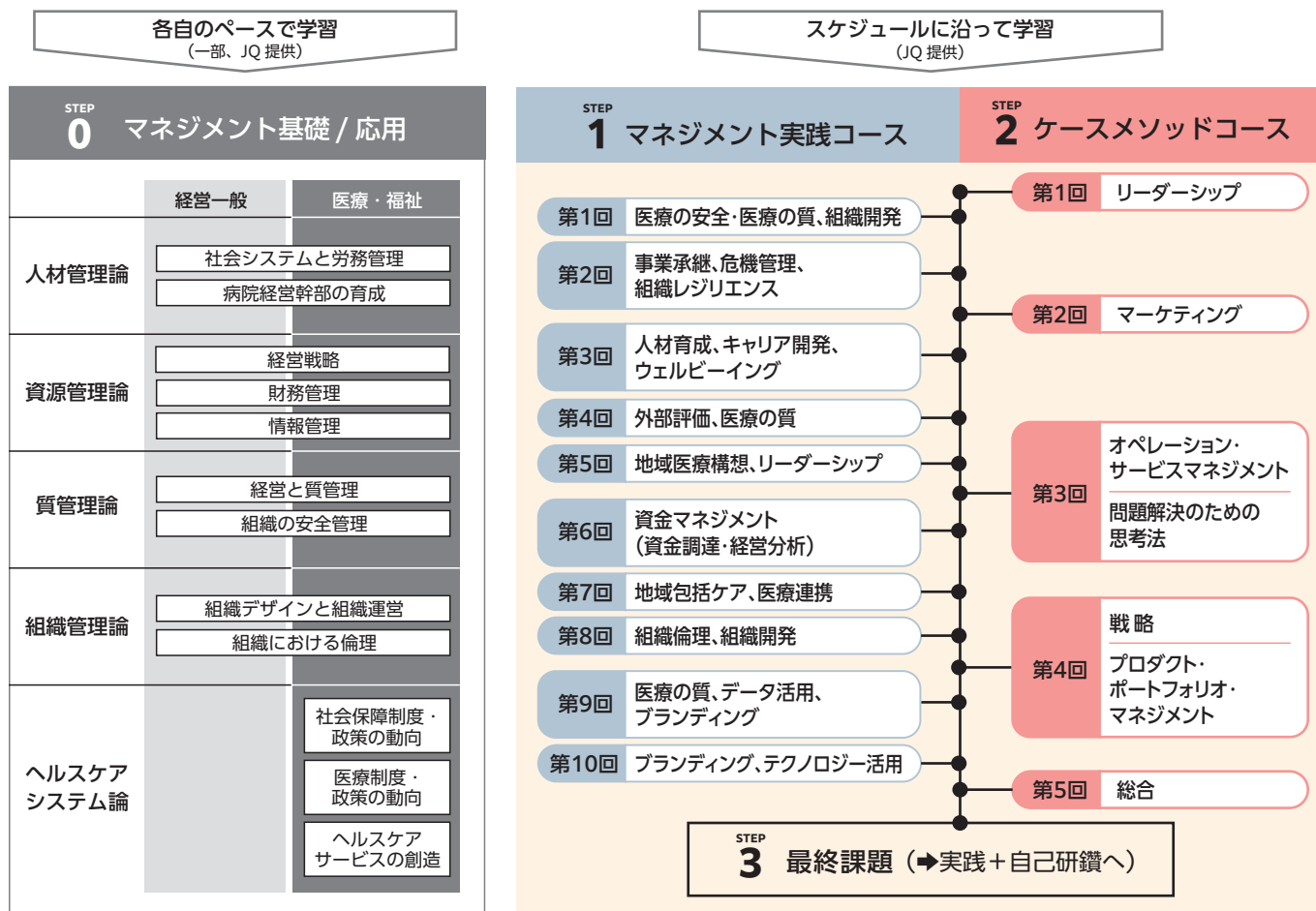
社会保障制度・政策の動向
医療制度・政策の動向
ヘルスケアサービスの創造

地域包括ケア、医療連携

セミナー概要

費用	385,000 円 (税込)
履修期間	10 か月程度
対象	各病院の経営幹部層 (職種不問)
定員	36 名程度
備考	申込後、受講要件を確認いたします

カリキュラムマップ



開催順や領域について、運営の都合上、一部、調整をすることがあります。

特徴

実践を見据えた大人の学び

実践を見据え、ケースメソッドを軸にカリキュラムを仕立てています

学習者自身が積極的に参加し考え主体的に問題に取り組むアクティブラーニングを採用。ケースメソッドを中心に、受講中の自学自習を促し、修了後の実践と学びの継続につなげます。各自の興味やペースを大切にしながら、学習を進めていただけます。

ITの積極的活用

e-learning や動画配信、Zoom も併用し学習の利便性を確保します。

段階に応じた仕掛け

学習の段階に応じてサポートや情報提供を行います

学習のペースメーカーとして、事務局や講師から積極的にメッセージを発信します。

修了後も学びあえる場を用意します。

講師や受講生どうしのネットワークづくりをサポートします。また、修了者の「集いの場」として、フォローアップセミナーや同窓会、協力病院でのフィールドワーク等を企画・実施。オープンバッジや資格制度の導入も検討中です。

JQの総合力を活かした切れ目のない組織の支援へ

JQ ならではの講師、コンテンツで学びたい意欲を刺激します

JQ がこれまでに培ってきた知見と人脈を活かしたカリキュラムを開発し、オリジナリティの高いコンテンツとして提供します。

JQとして他事業との有機的な連携を実現します

他の機構事業 (病院機能評価事業や教育研修事業が実施する各基礎プログラムを通じた人材養成等) との連携により、将来にわたり病院に対する総合的な支援を実現します。

スケジュール

タイトル	開催目安	開催形式	領域・コンテンツ	事前学習
オリエンテーション	5月	Zoom Meeting		—
ケースメソッド・第1回	5月	原則、対面	リーダーシップ	ケース
マネジメント実践・第1回	6月	Zoom Meeting	医療の安全・医療の質、組織開発	動画
マネジメント実践・第2回	6月	Zoom Meeting	事業承継、危機管理、組織レジリエンス	動画
ケースメソッド・第2回	7月	ハイブリッド	マーケティング	ケース
マネジメント実践・第3回	7月	Zoom Meeting	人材育成、キャリア開発、ウェルビーイング	動画
マネジメント実践・第4回	7月	Zoom Meeting	外部評価、医療の質	動画
マネジメント実践・第5回	8月	Zoom Meeting	地域医療構想、リーダーシップ	動画
ケースメソッド・第3回	8月	原則、対面	①オペレーションサービスマネジメント ②問題解決のための思考法	ケース
マネジメント実践・第6回	9月	Zoom Meeting	資金マネジメント(資金調達・経営分析)	動画
マネジメント実践・第7回	9月	Zoom Meeting	地域包括ケア、医療連携	動画
マネジメント実践・第8回	9月	Zoom Meeting	組織倫理、組織開発	動画
ケースメソッド・第4回	10月	ハイブリッド	戦略、プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント	ケース
マネジメント実践・第9回	10月	Zoom Meeting	医療の質、データ活用、ブランディング	動画
マネジメント実践・第10回	11月	Zoom Meeting	ブランディング、テクノロジー活用	動画
ケースメソッド・第5回	12月	原則、対面	総合	ケース
修了課題の提出	2月			—
発表会・修了式	3月	原則、対面		—

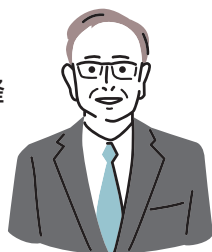
- ・開催日と担当講師の詳細は、各年度の開催案内をご覧ください。
- ・原則として、ケースメソッドコースはいずれかの土・日・祝日の午後、マネジメントコースは平日の夕方に開催予定です。
- ・開催順や領域について、運営の都合上、一部、調整をすることがあります。

ケースメソッド担当講師

ケースメソッドコース

渋谷 明隆

Shibuya
Akitaka



1980年北里大学医学部卒、1986年同大学院博士課程修了。米国City of Hope研究所留学、消化器内科講師を経て、2005年に北里大学新病院プロジェクトリーダーに就任。ハーバードビジネススクールHealthcare Delivery修了、慶應義塾大学経営管理研究科修了、MBA。北里大学教授、北里大学病院副院長、学校法人北里研究所常任理事を経て、相模原協同病院院長。

ケースメソッドコース

中澤 達

Nakazawa
Tatsu



1991年東京大学医学部卒。2000年同大学院博士課程修了。医学博士。ハーバードビジネススクール Executive Education修了。東京大学医学部附属病院助手、ワシントン大学医学部上級研究員、北里大学大学院医療マネジメント教授を経て、堀ノ内病院副院長。東京大学医学部非常勤講師。グロービス経営大学院教員。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

ホームページ : <https://jq-edu.jcqhc.or.jp/program/eo/>

医療エグゼクティブ・オフィサー

🔍 検索



[お問い合わせ]

公益財団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部 教育研修課

Tel : 03-5217-2373 / Mail : kenshu@jqhc.or.jp

このパンフレットに記載の内容は予告なく変更の可能性があります。